資料３－２

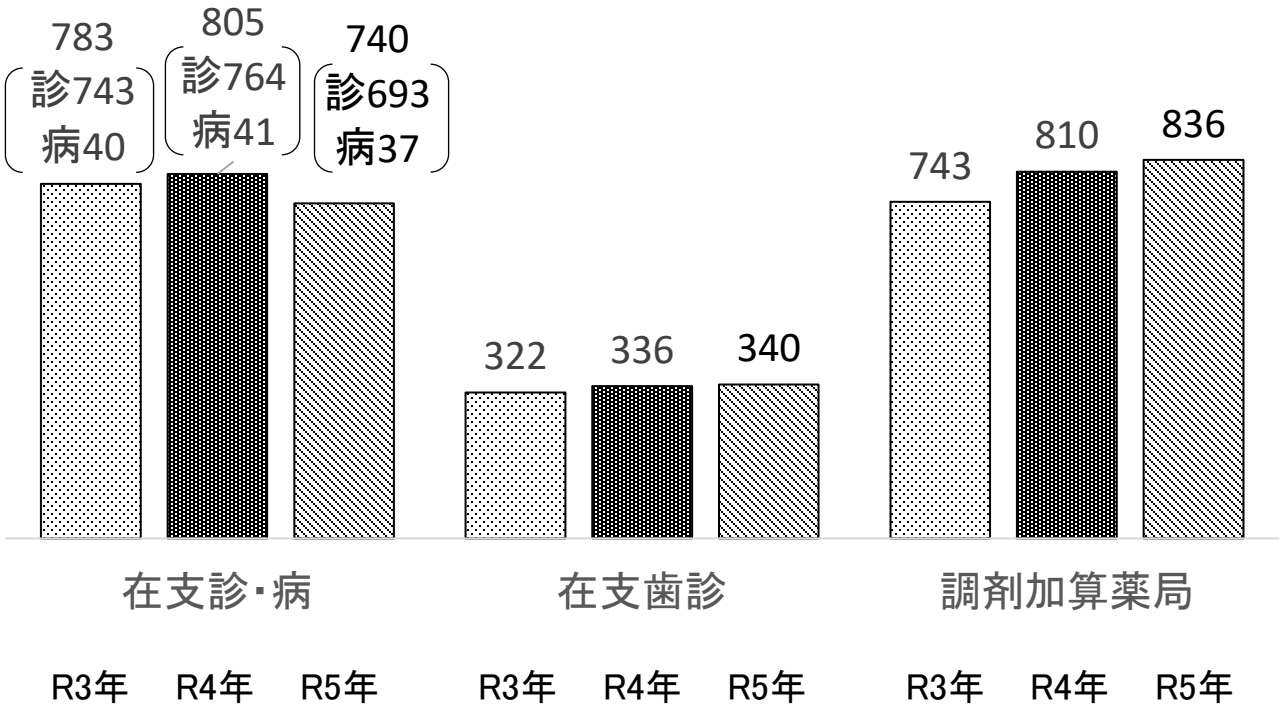
在宅医療・介護連携推進事業における評価指標（事業進捗）について

【ストラクチャー指標】

A　社会資源　ストラクチャー指標　①

②近畿厚生局施設基準届出

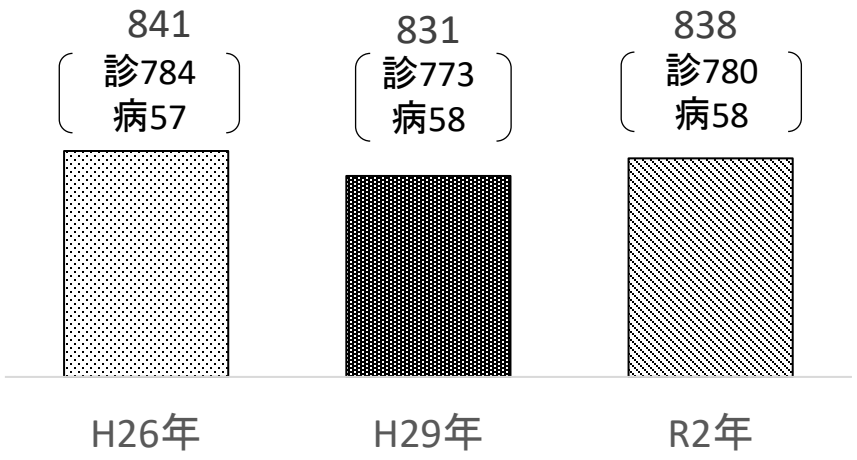
- 在宅療養支援診療所・病院数
- 在宅療養支援歯科診療所数
- 在宅患者調剤加算の届出薬局数



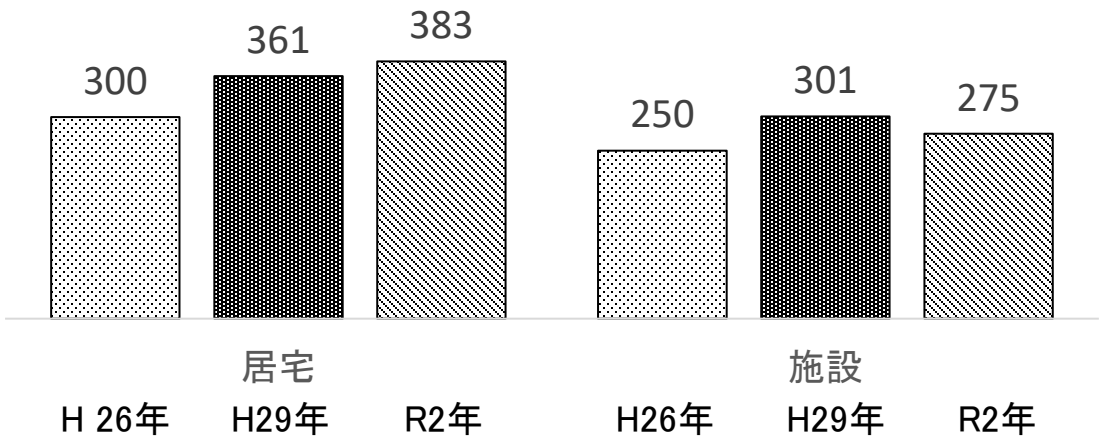
A　社会資源　ストラクチャー指標　②

①医療施設調査

- 訪問診療を実施している病院・診療所数



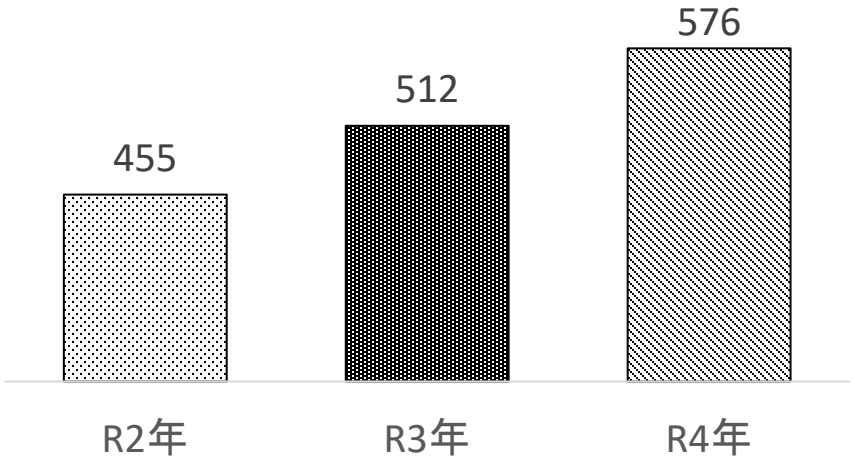
- 歯科訪問診療を実施している歯科診療所数



A　社会資源　ストラクチャー指標　③

③介護サービス施設・事業所調査

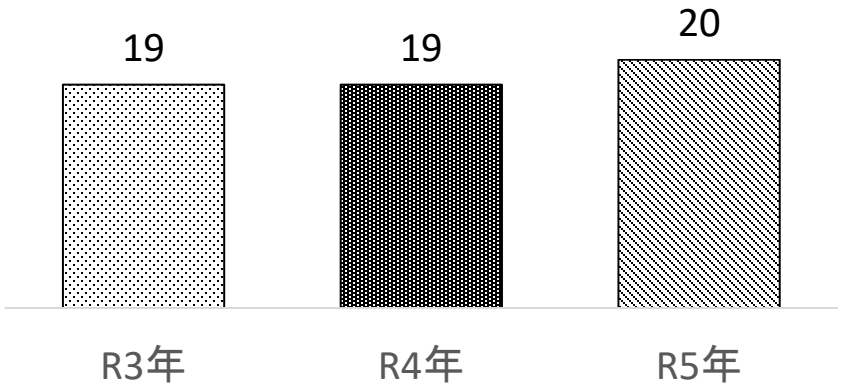
- 訪問看護ステーション数



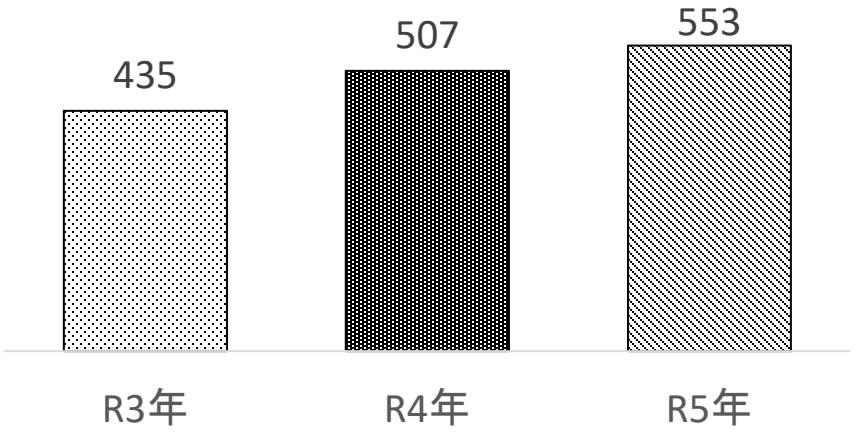
A　社会資源　ストラクチャー指標　④

②近畿厚生局施設基準届出

- 在宅療養後方支援病院数



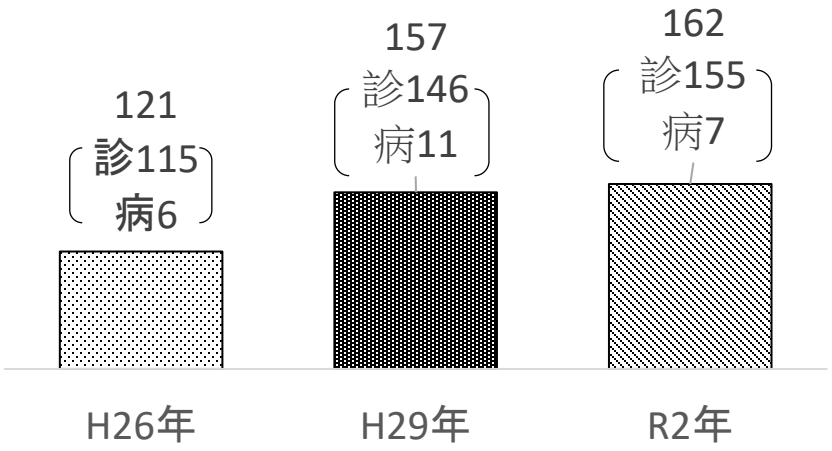
- 24時間対応体制加算を算定している訪問看護ステーション数



A　社会資源　ストラクチャー指標　⑤

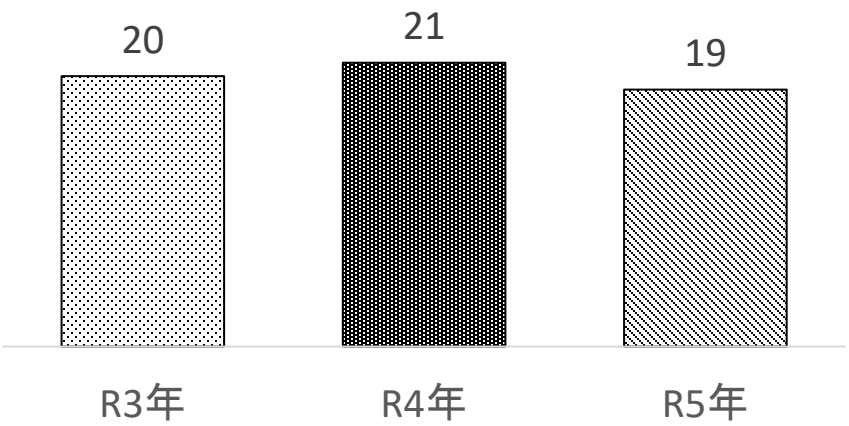
- 在宅看取りを実施している病院・診療所数

①医療施設調査



- 機能強化型訪問看護管理療養費（1・2）を算定している訪問看護ステーション数

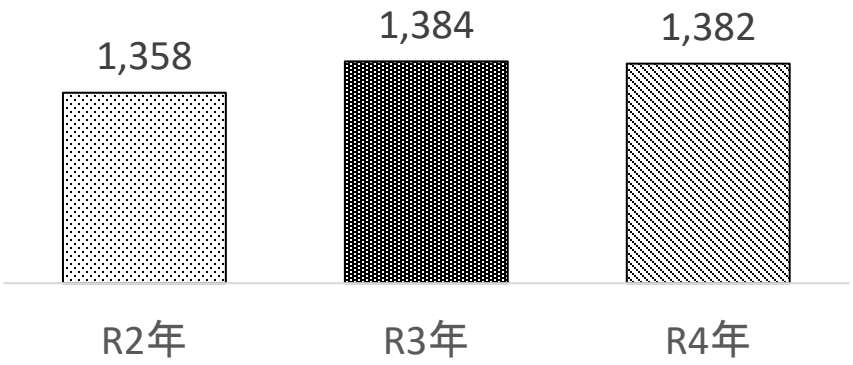
②近畿厚生局施設基準届出



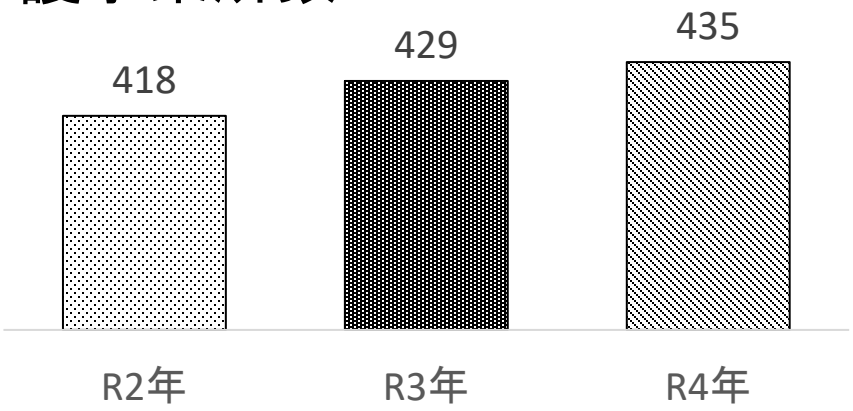
A　社会資源　ストラクチャー指標　⑥

③介護サービス施設・事業所調査

- 居宅介護支援事業所数



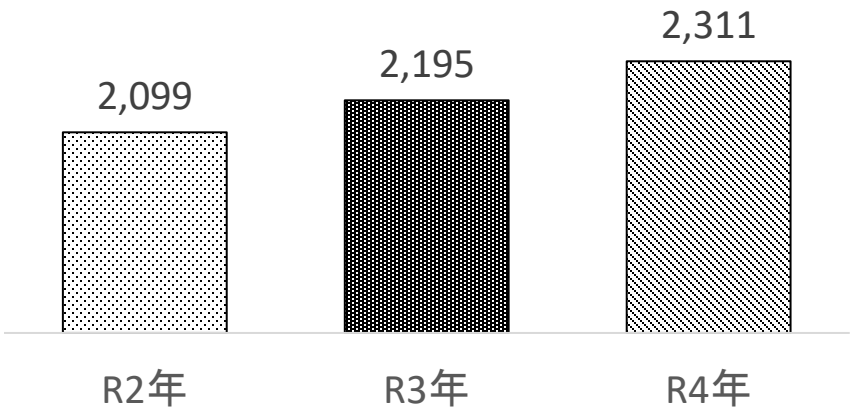
- 通所介護事業所数



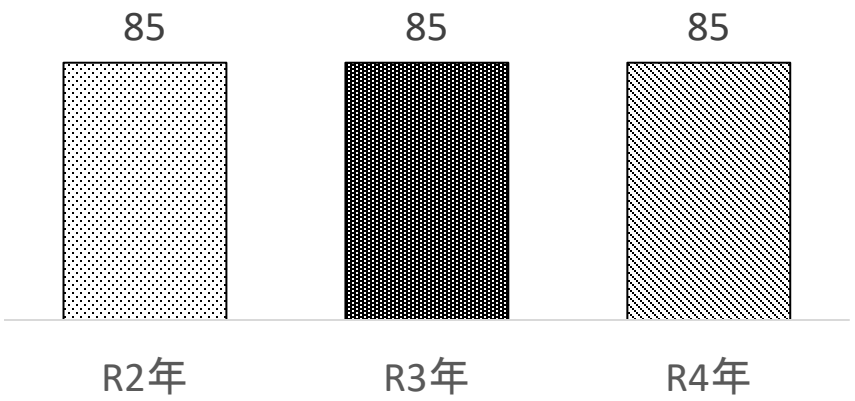
A　社会資源　ストラクチャー指標　⑦

③介護サービス施設・事業所調査

- 訪問介護事業所数



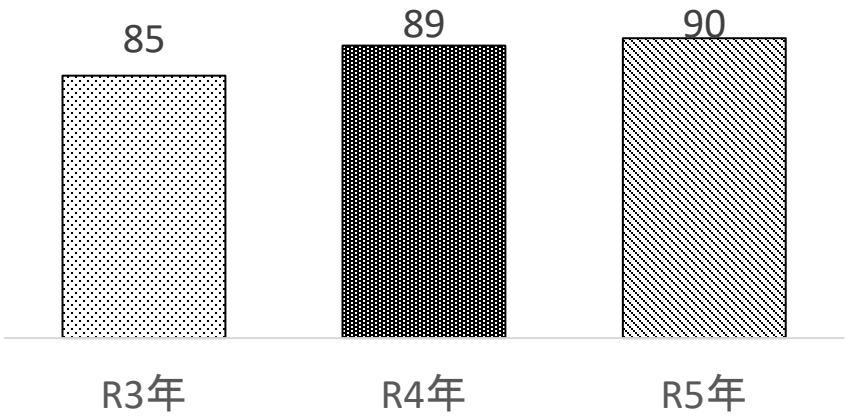
- 介護老人保健施設数



C　連携　ストラクチャー指標

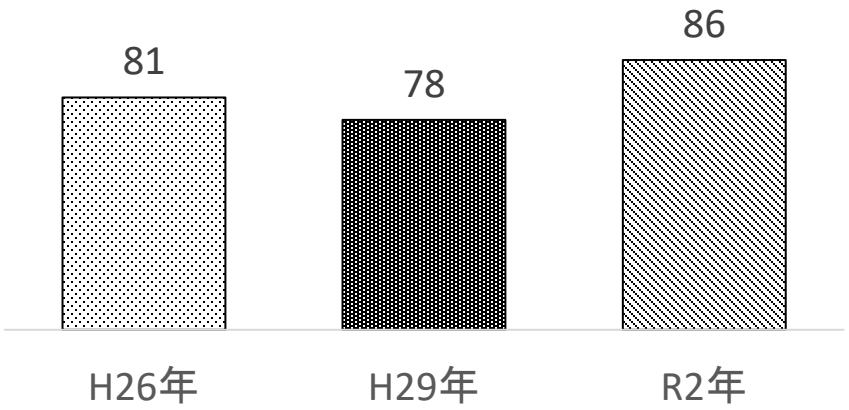
- 入退院支援加算を算定している病院・診療所数

②近畿厚生局施設基準届出



- 退院支援担当者を配置している病院数

①医療施設調査

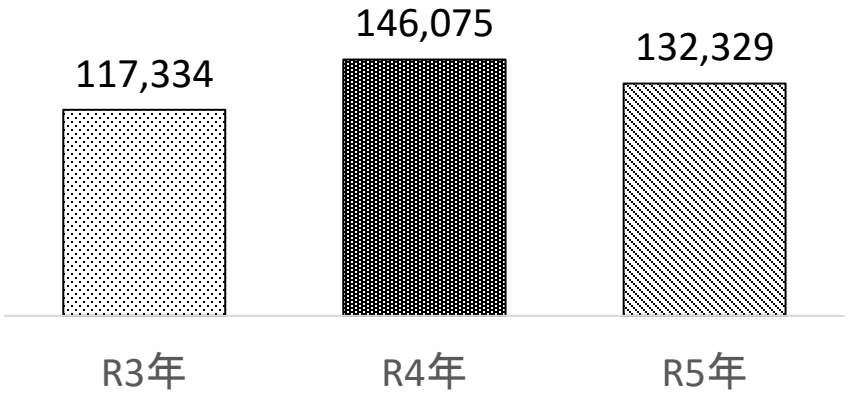


【プロセス指標】

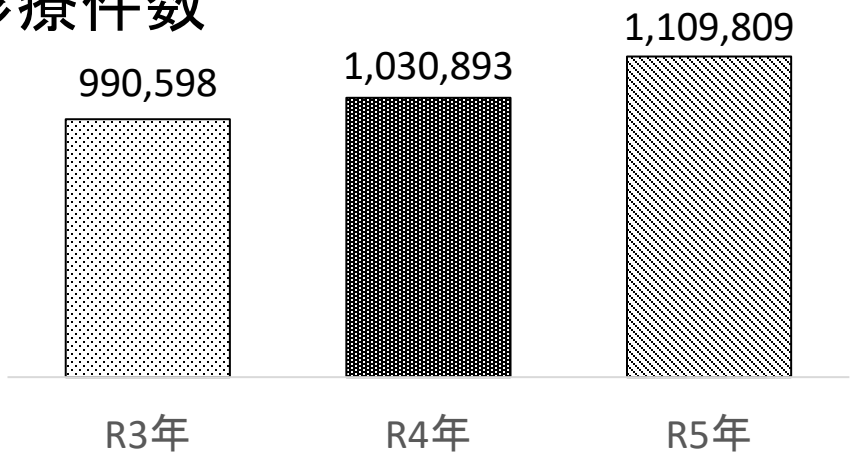
A　社会資源：日常療養支援　プロセス指標　①

②近畿厚生局施設基準届出（定例報告）

- 在宅療養を担当した診療患者数



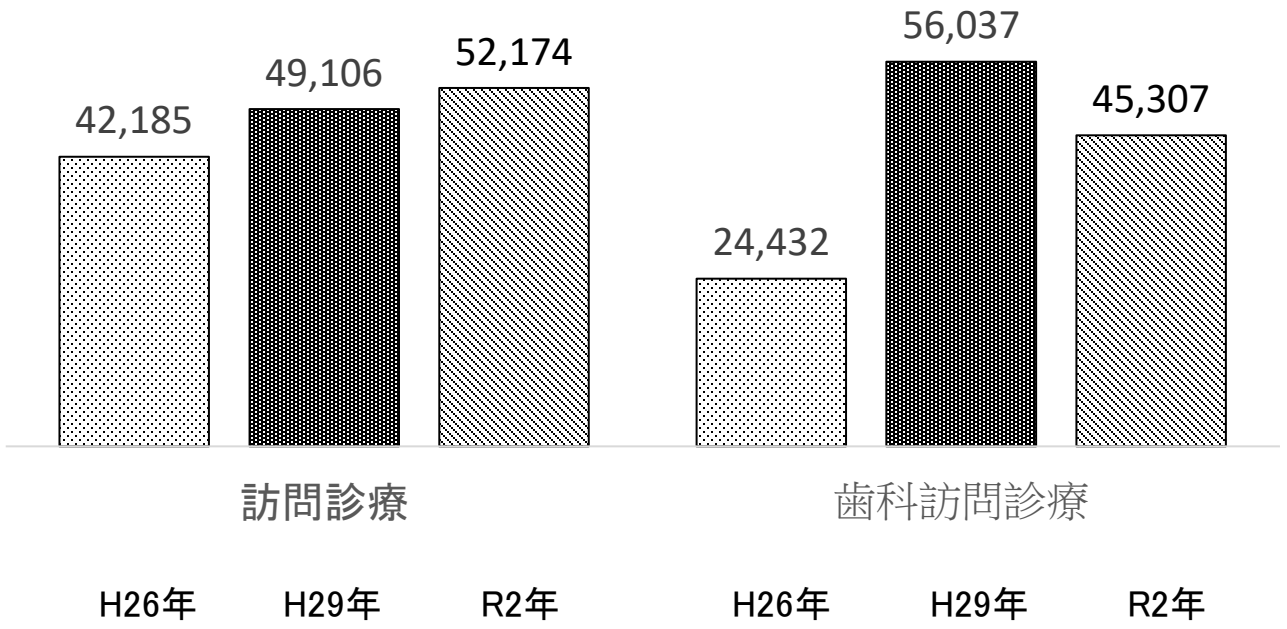
- 訪問診療件数



A　社会資源：日常療養支援　プロセス指標　②

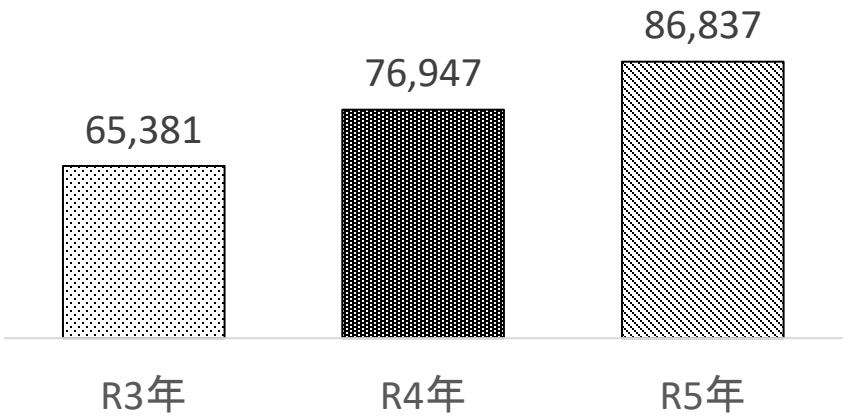
①医療施設調査

- 訪問診療件数
- 歯科訪問診療件数



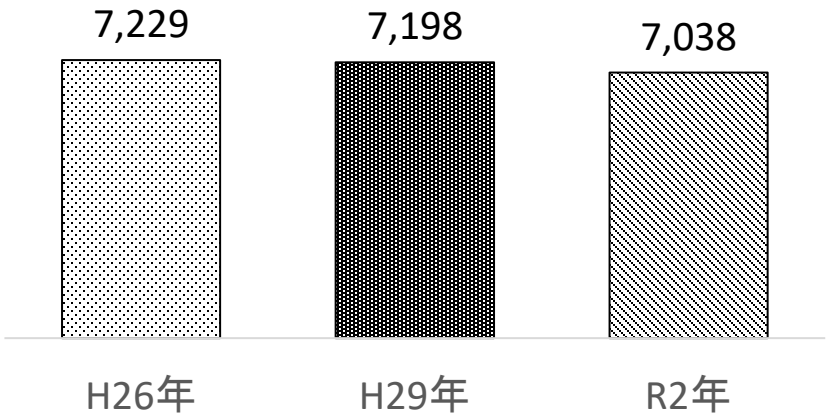
A　社会資源：急変時の対応　プロセス指標　①

- 往診件数



②近畿厚生局施設基準届出（定例報告）

在宅療養支援診療所・病院として届け出ている医療機関における1年間の往診件数



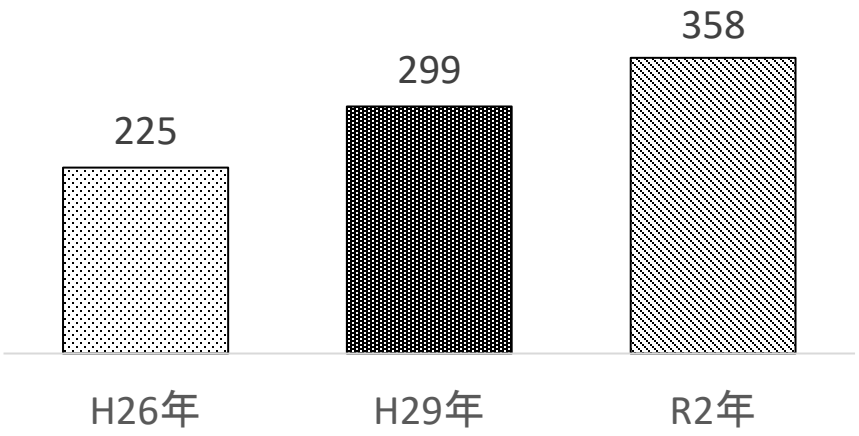
①医療施設調査

すべての医療施設における9月1か月間の往診件数

A　社会資源：看取り　プロセス指標　②

①医療施設調査

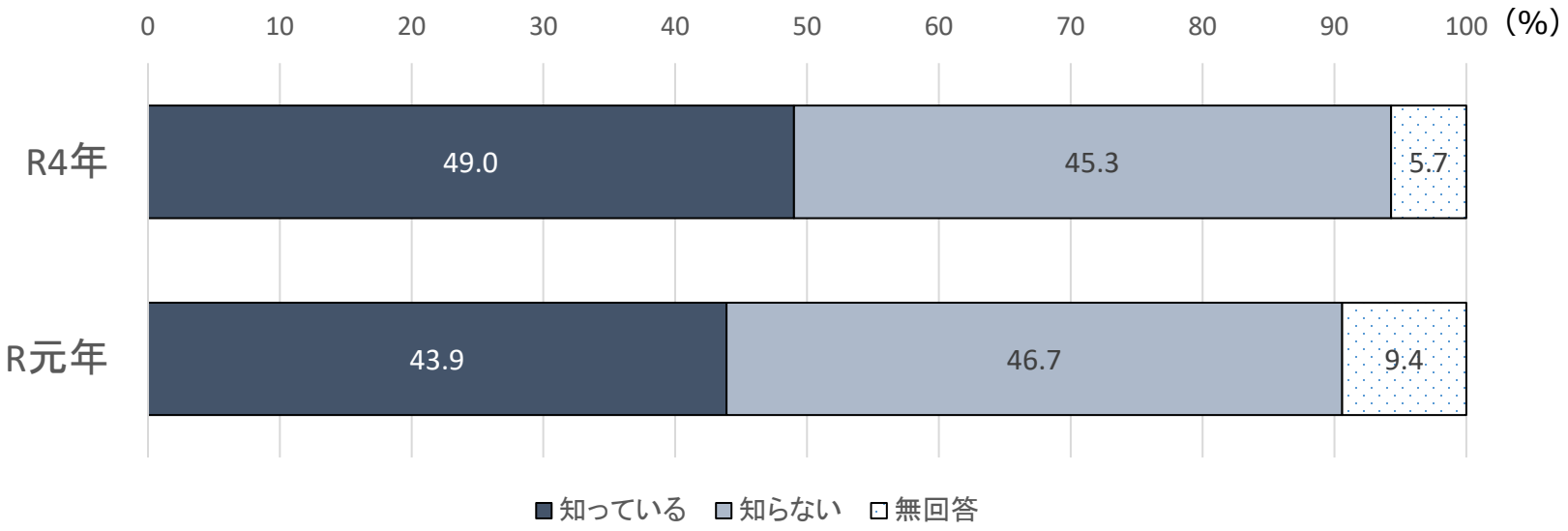
- 在宅看取り件数



B　普及啓発：入退院支援　プロセス指標　①

⑤高齢者
実態調査
（本人調査）

- 在宅医療を受けられることを知っている住民の割合

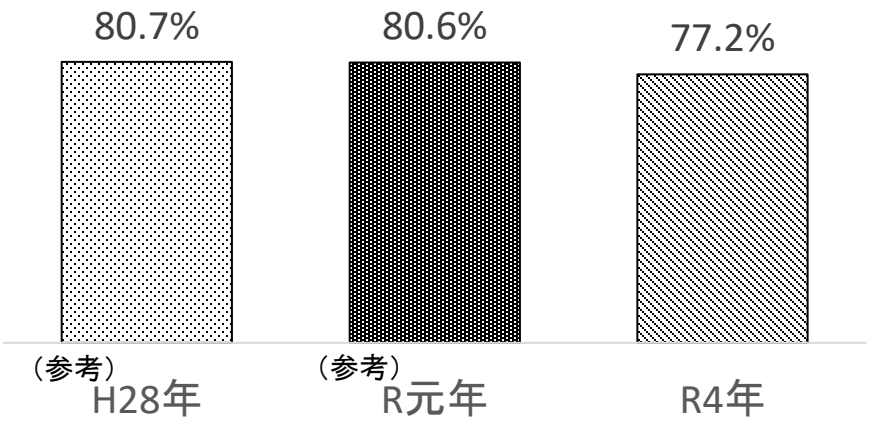


B　普及啓発：入退院支援　プロセス指標　②

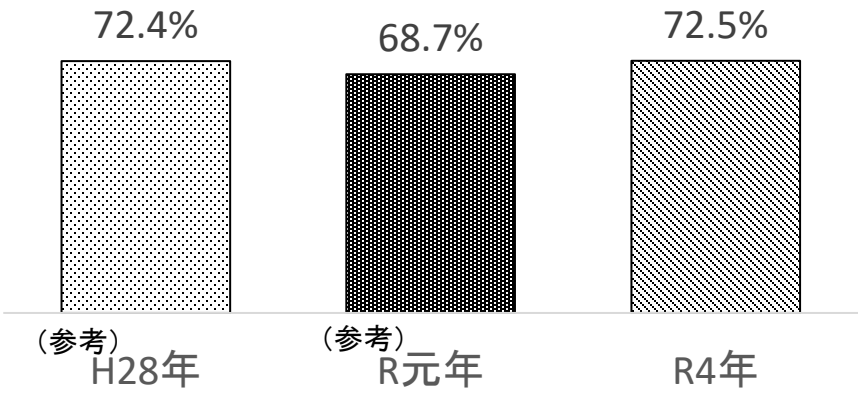
⑤高齢者実態調査
（R4年：ニーズ調査）
（H28年、R元年：本人調査）

- かかりつけ医師等のいる住民の割合

①かかりつけ医

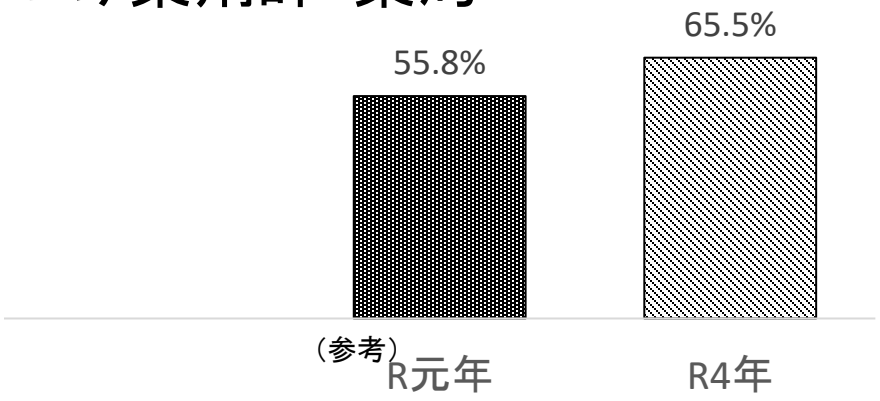


②かかりつけ歯科医



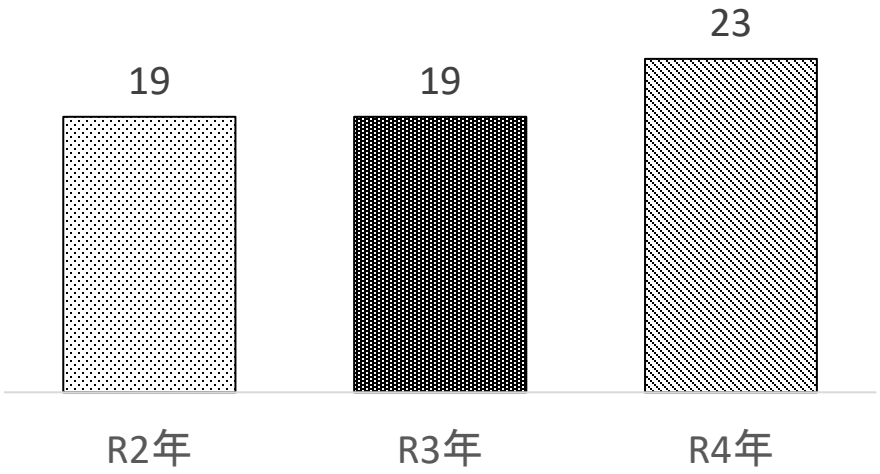
B　普及啓発：入退院支援　プロセス指標　③

③かかりつけ薬剤師・薬局



⑤高齢者実態調査
（R4年：ニーズ調査）
（R元年：本人調査）

- 在宅医療や介護についての周知・啓発をしている区の数

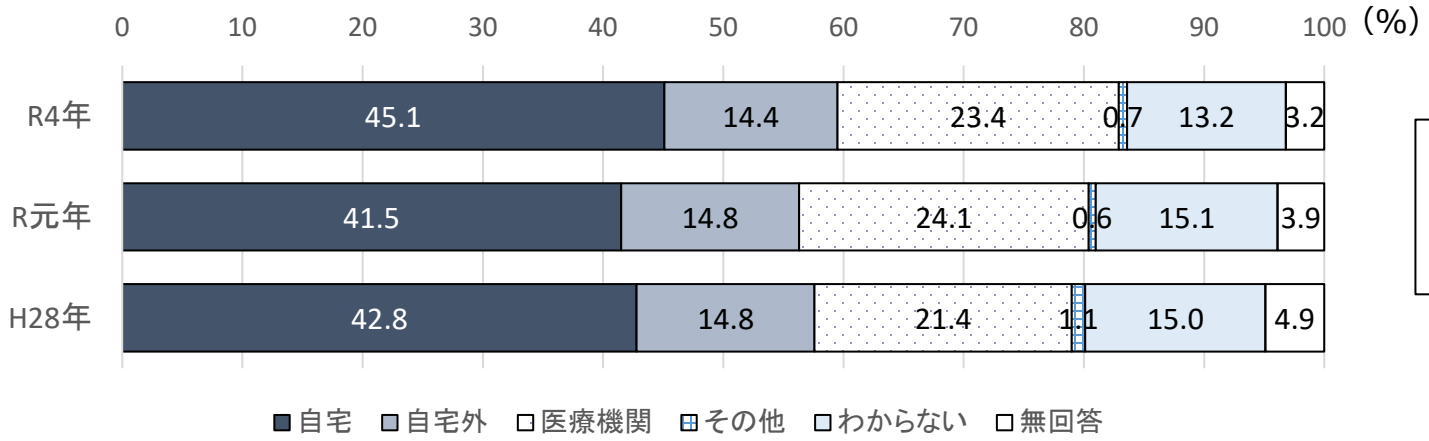


⑥医介事業
定例報告

B　普及啓発：日常療養支援　プロセス指標　⑤

⑤高齢者
実態調査
（本人調査）

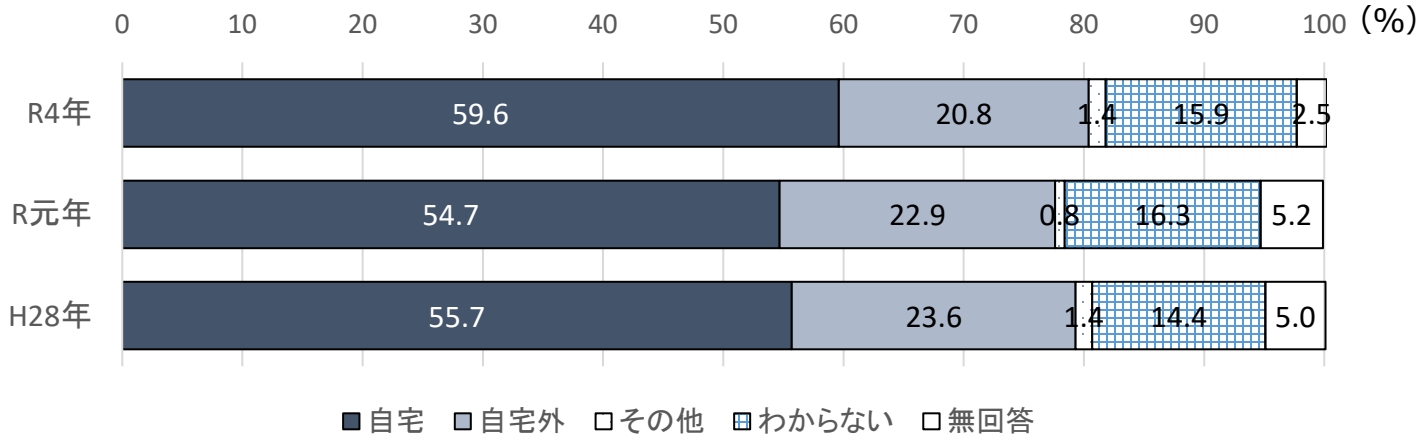
- 人生の最終段階を自宅で過ごしたい住民の割合



自宅：子どもの家や親族の家を含む
自宅外：高齢者向け住宅や介護施設等

- 介護が必要となった場合、自宅で過ごしたい住民の割合

⑤高齢者
実態調査
（本人調査）

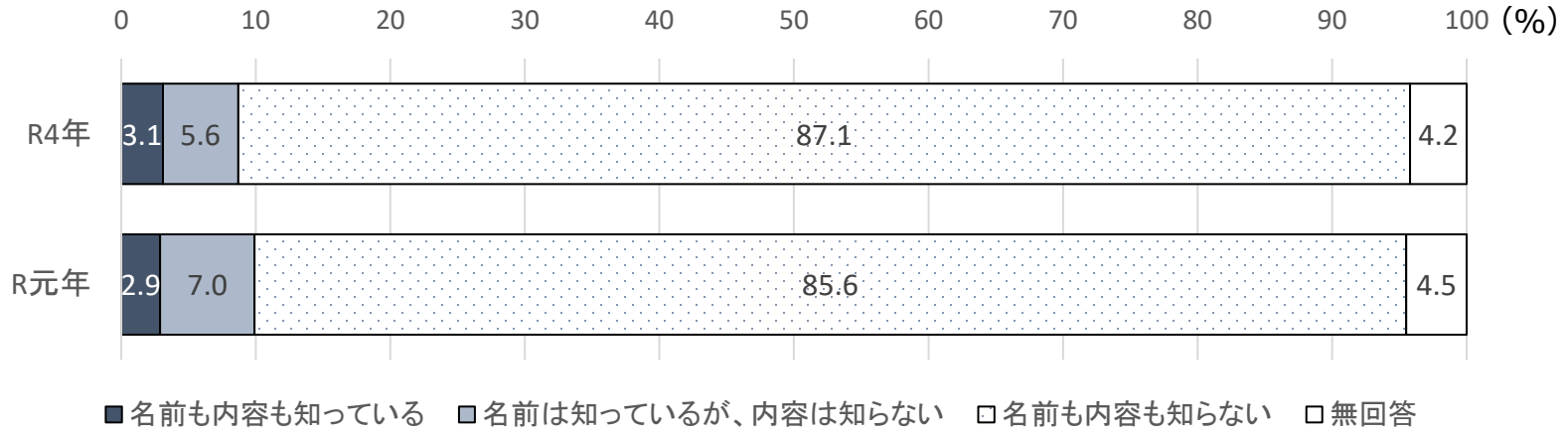


自宅：家族などの介護や居宅介護サービスを受けながら現在の住宅に住み続けたい
自宅外：高齢者向け住宅や施設に入所したい

B　普及啓発：看取り　プロセス指標　④

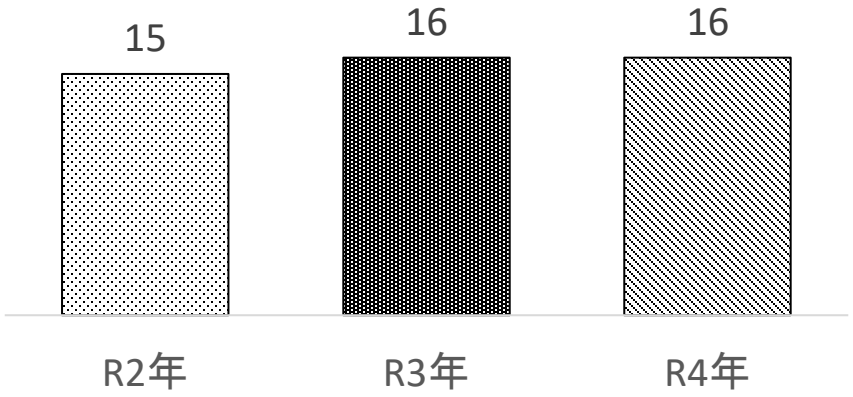
⑤高齢者
実態調査
（本人調査）

- 人生会議（ACP）を知っている住民の割合



- 看取り等終末期についての周知・啓発をしている区の数

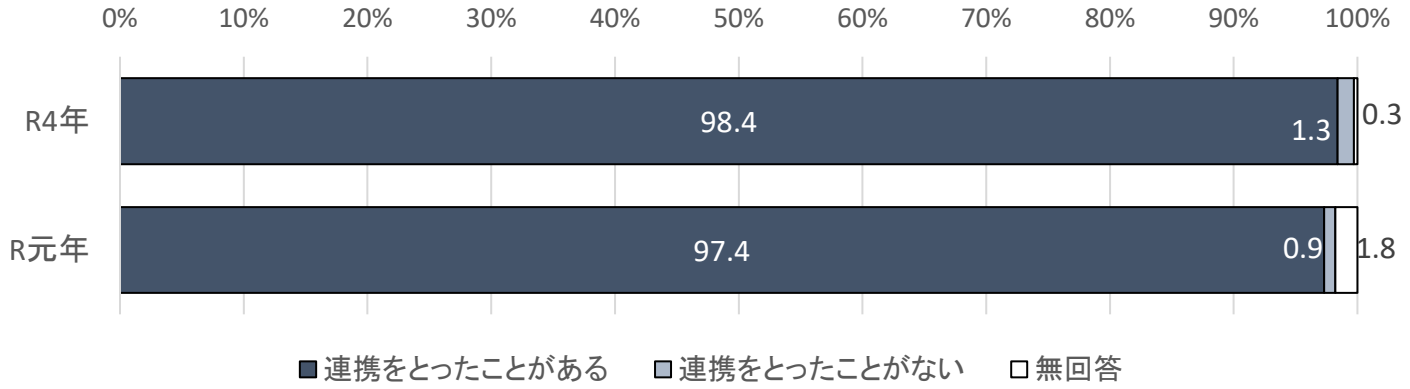
⑥医介事業
定例報告



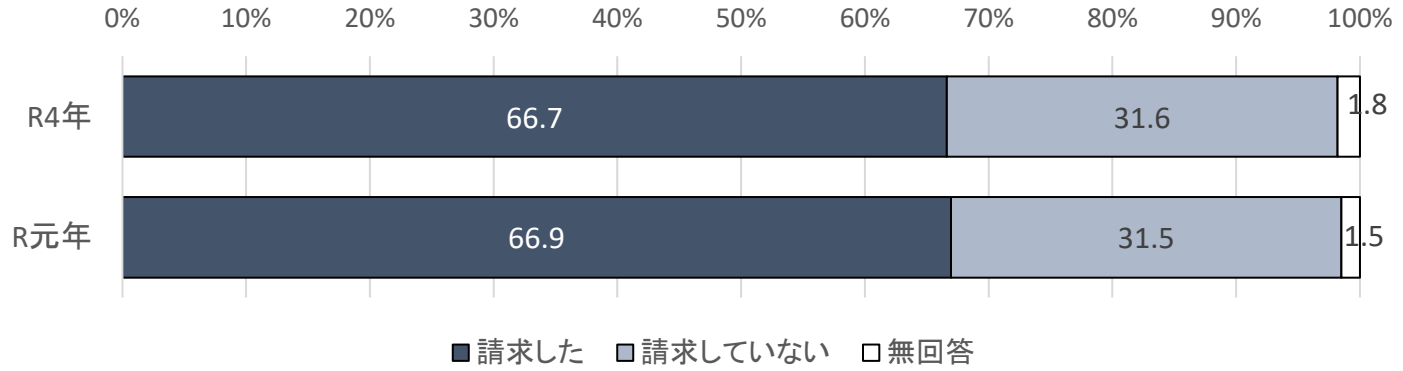
C 連携：入退院支援 プロセス指標 ①

⑤高齢者実態調査（介護支援専門員調査）

- 病院・施設と連携したことのある介護支援専門員の割合



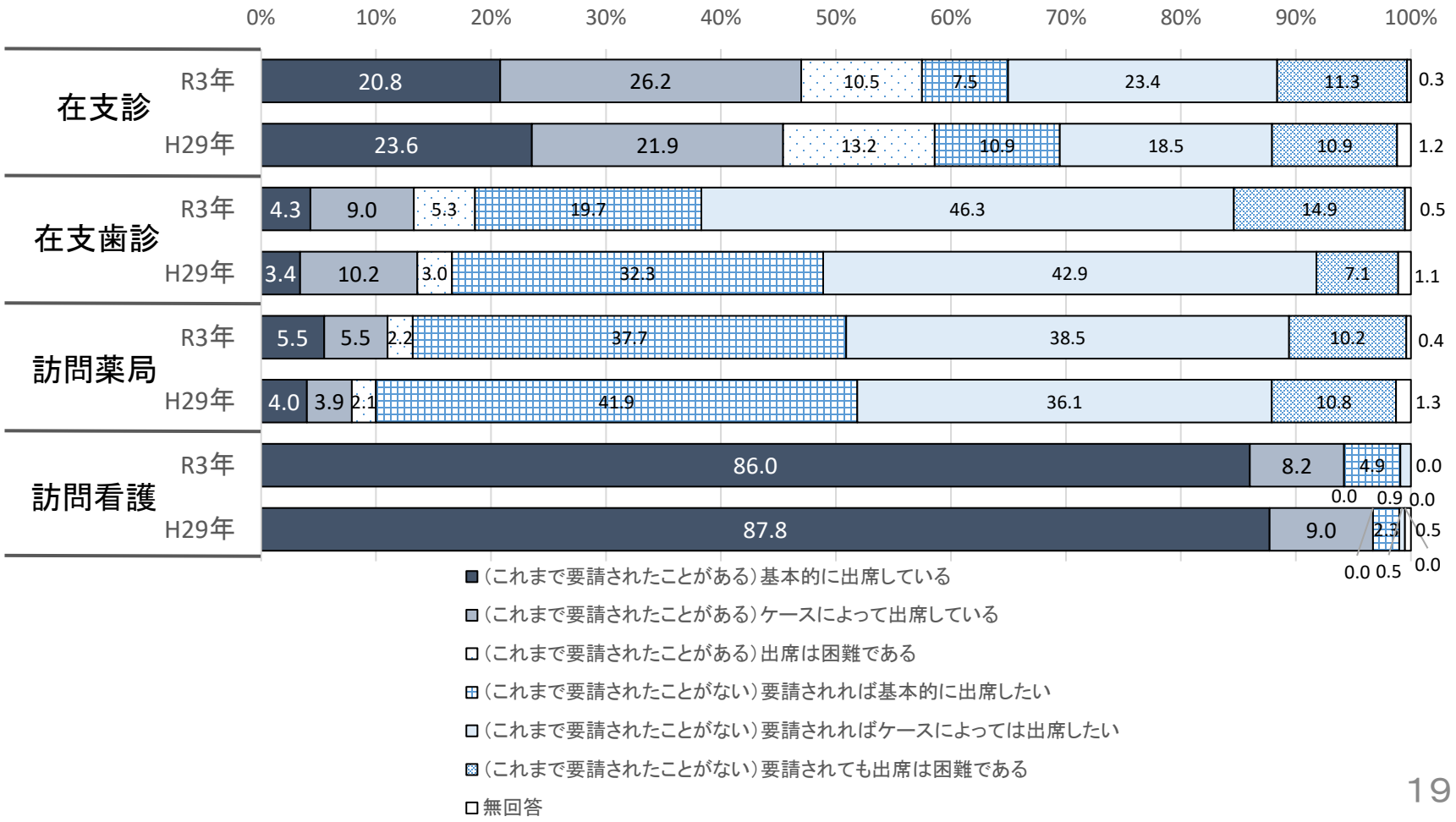
- 病院・施設との連携加算を算定している介護支援専門員の割合



C 連携：入退院支援 プロセス指標 ②

④独自調査

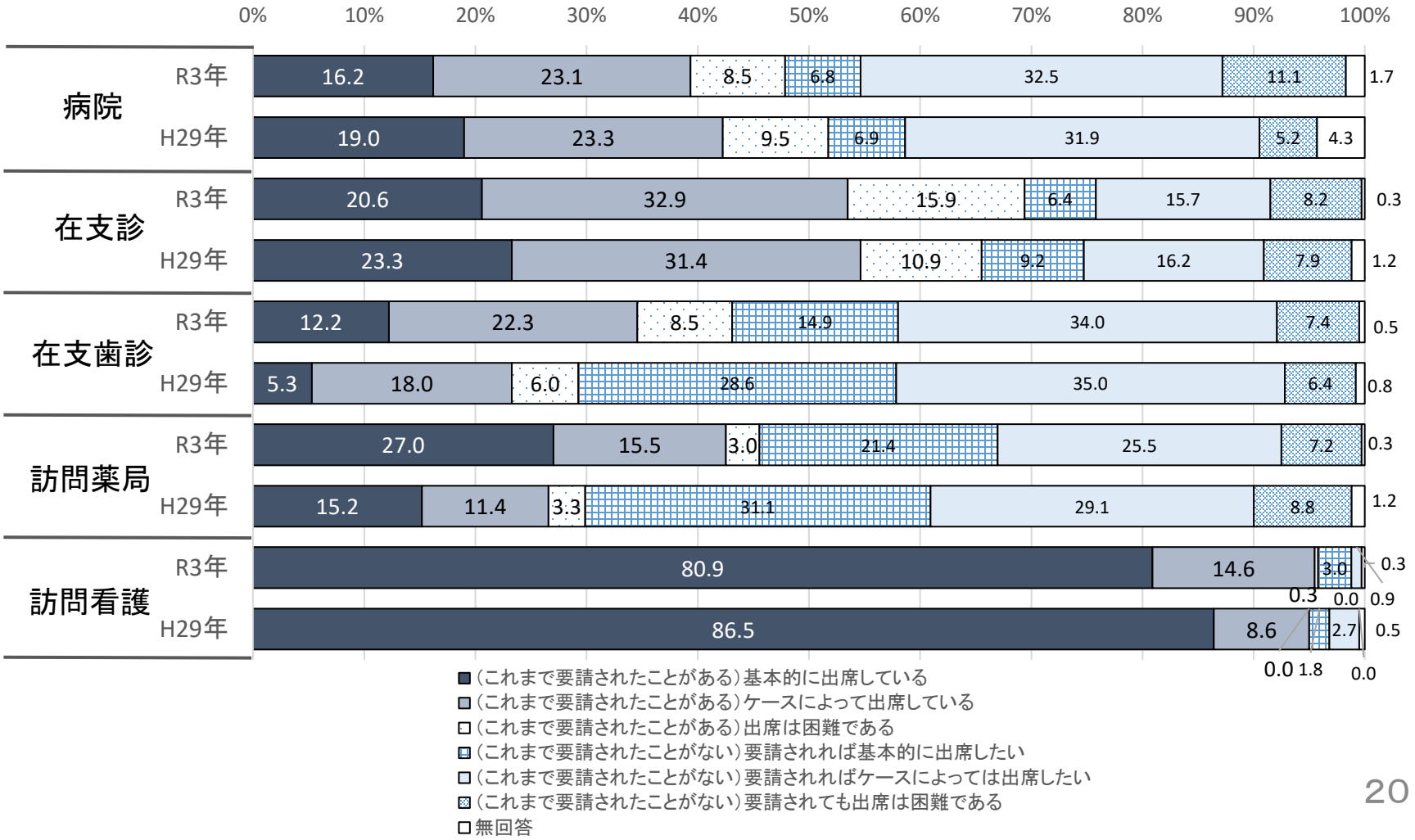
- 入退院カンファレンスへの出席要請有の割合
- 入退院カンファレンスへの出席意向有の割合



C 連携：入退院支援 プロセス指標 ③

④独自調査

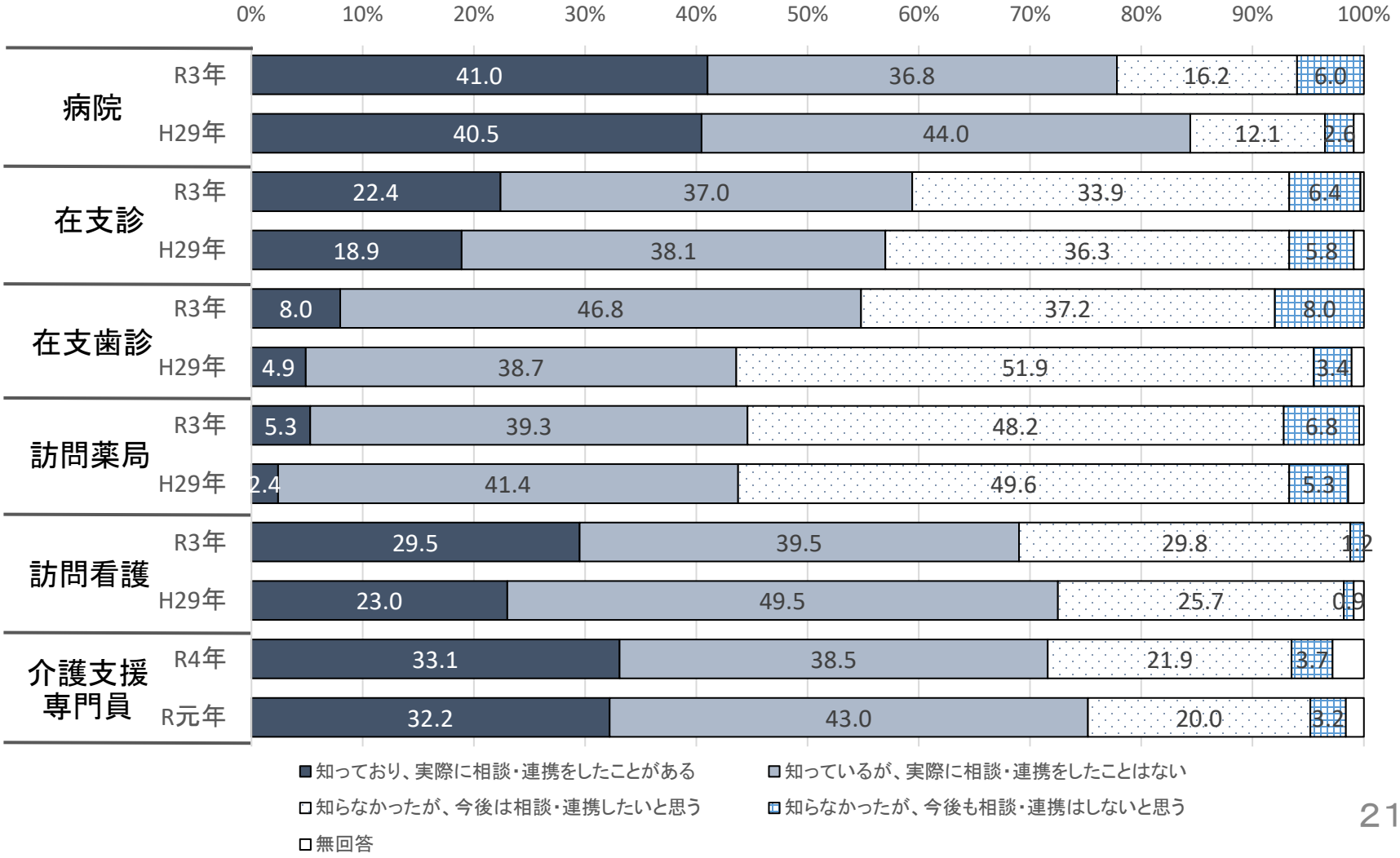
- サービス担当者会議への出席要請有の割合
- サービス担当者会議への出席意向有の割合



C 連携：日常療養支援 プロセス指標 ④

- 相談支援室を知っている割合
- 相談支援室の利用意向のある割合

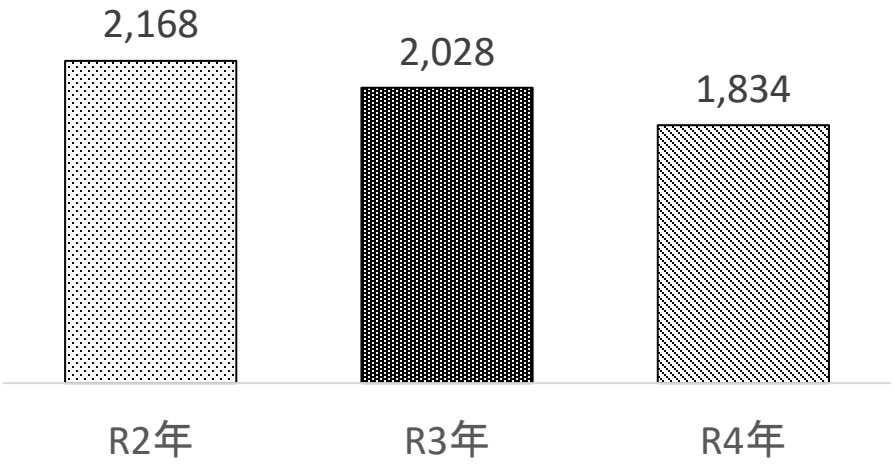
④独自調査
⑤高齢者実態調査（介護支援専門員調査）



C　連携：日常療養支援　プロセス指標　⑤

⑥医介事業
定例報告

- 相談支援室相談件数

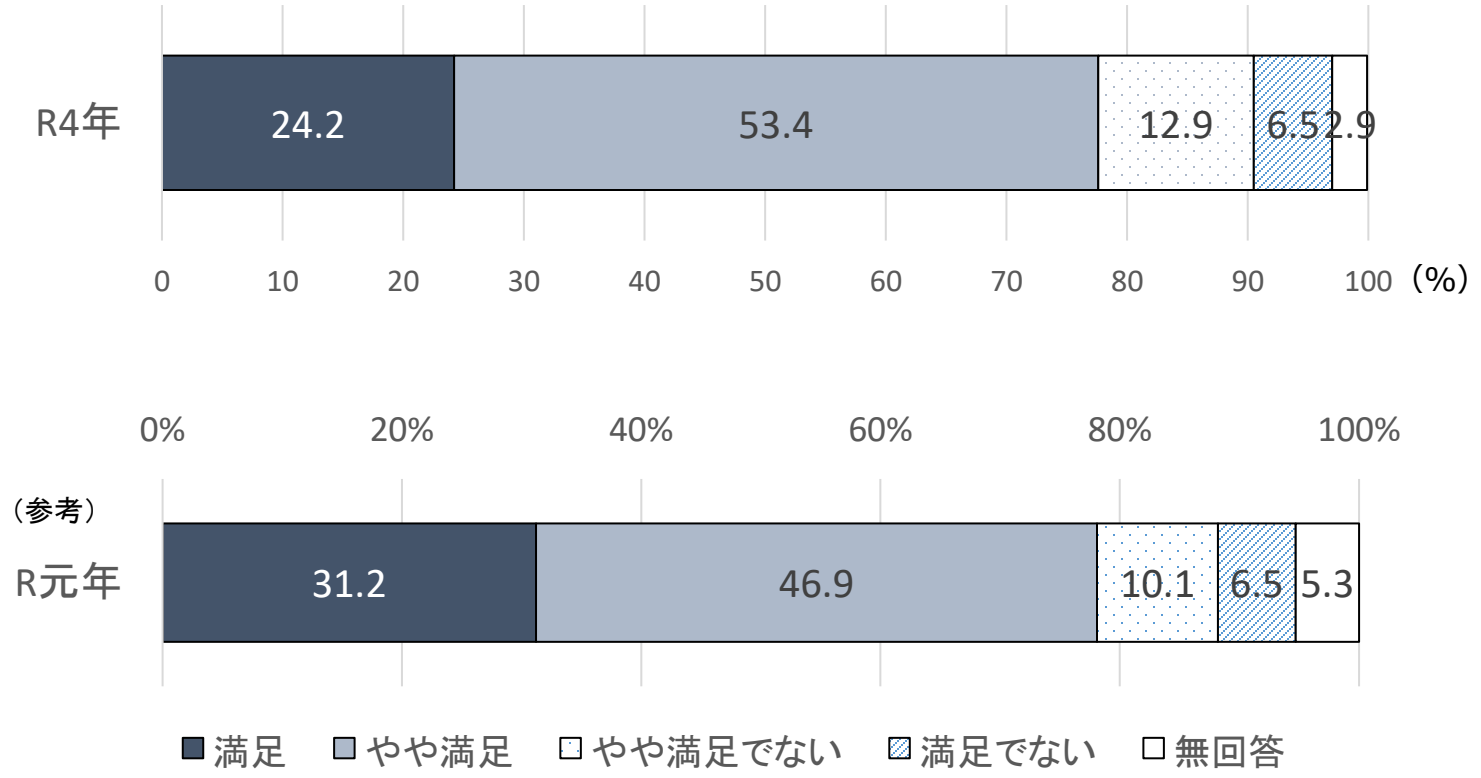


【アウトカム指標】

B　普及啓発　アウトカム指標

⑤高齢者実態調査
（R4年：ニーズ調査）
（R元年：本人調査）

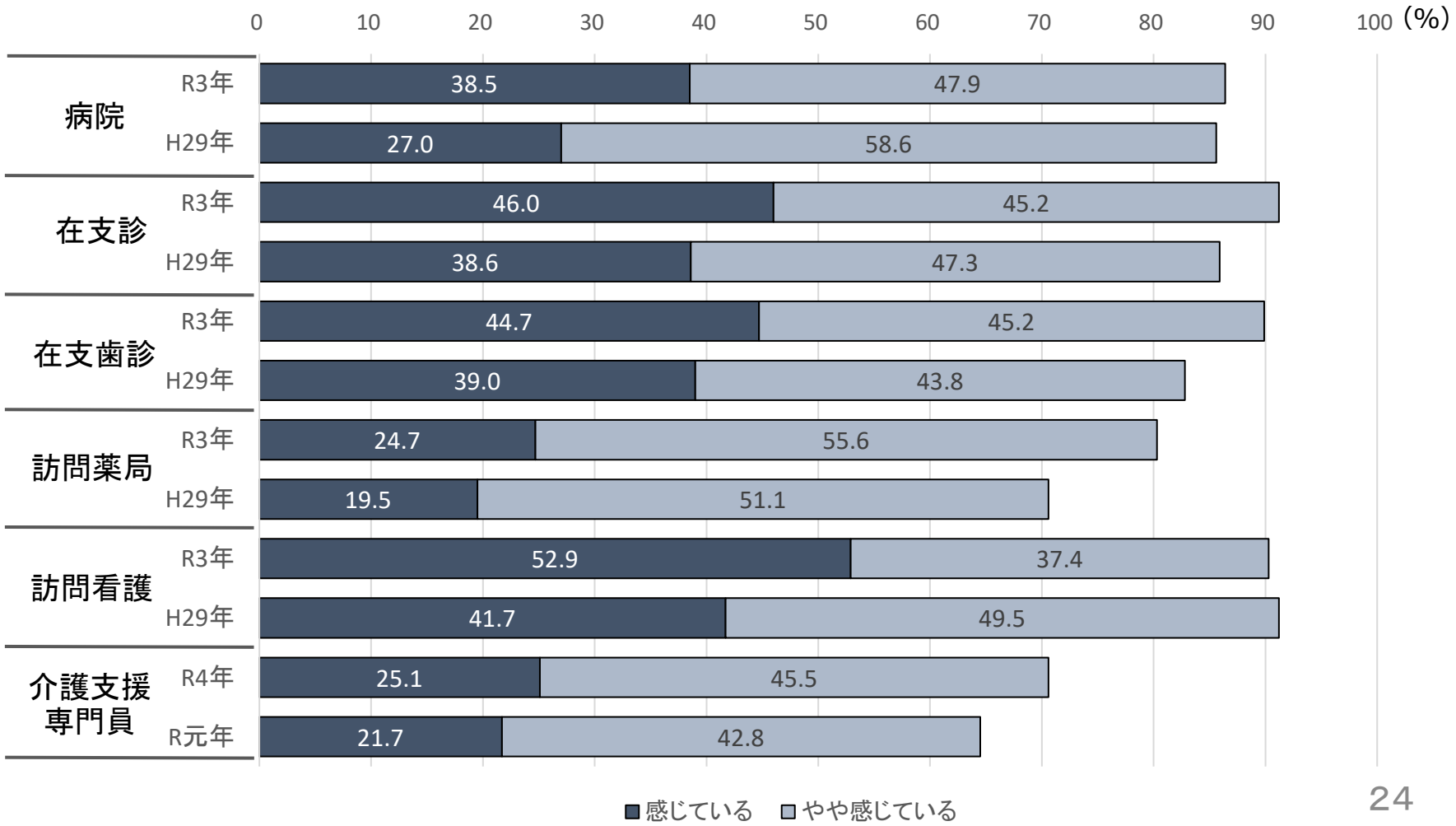
- 現在の生活に満足している住民の割合



C 連携 アウトカム指標

④独自調査
⑤高齢者
実態調査
（介護支援専門員調査）

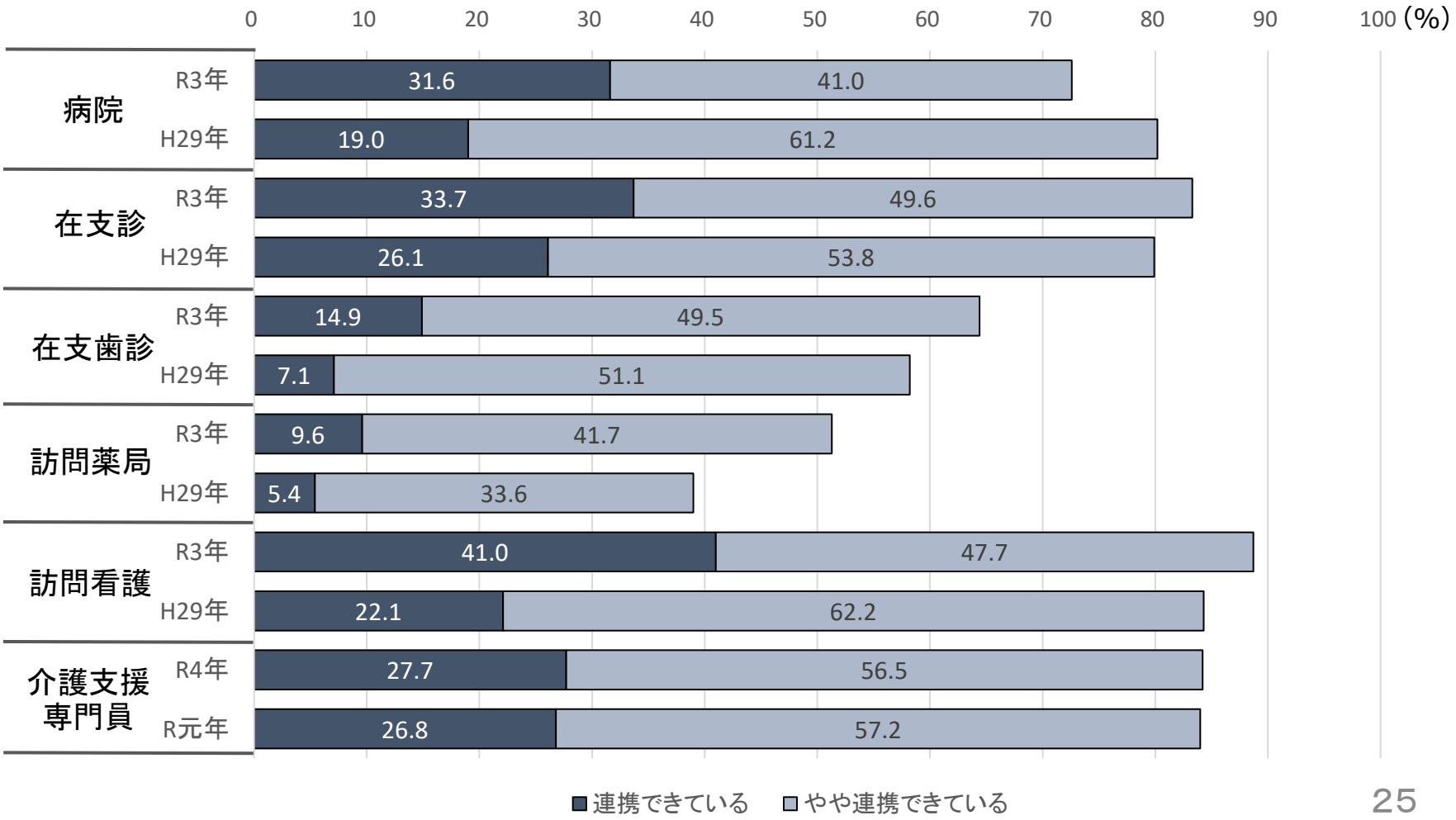
- 自身の仕事に満足している割合



C 連携 アウトカム指標

④独自調査
⑤高齢者
実態調査
（介護支援専門員調査）

- 他職種・他機関と連携できていると思う割合

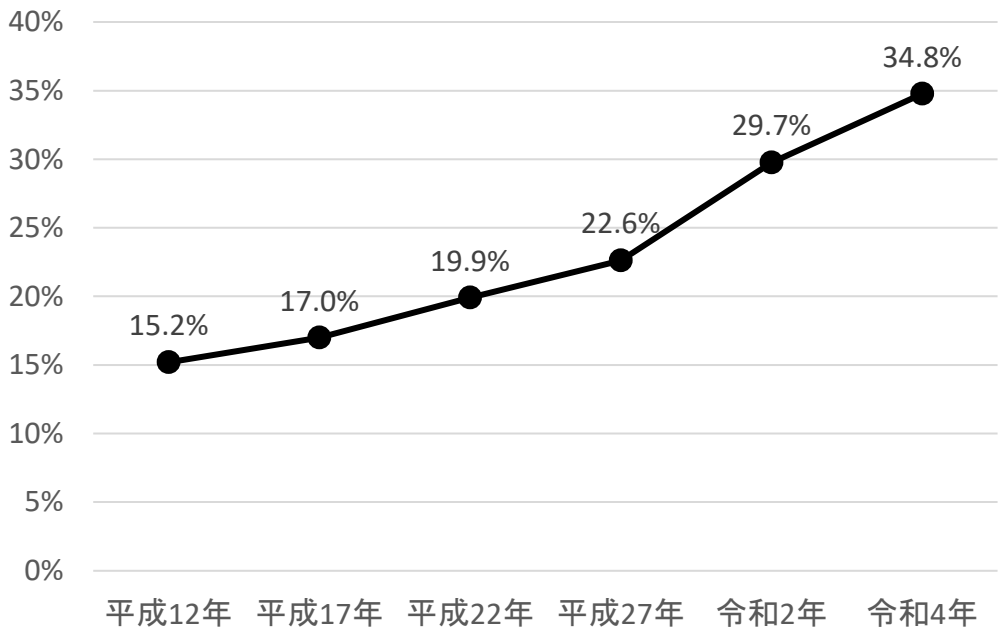


アウトカム指標

人口動態
統計

- 居宅等※1死亡者割合

（※1居宅等：自宅＋老人ホーム＋介護老人保健施設・介護医療院※２）

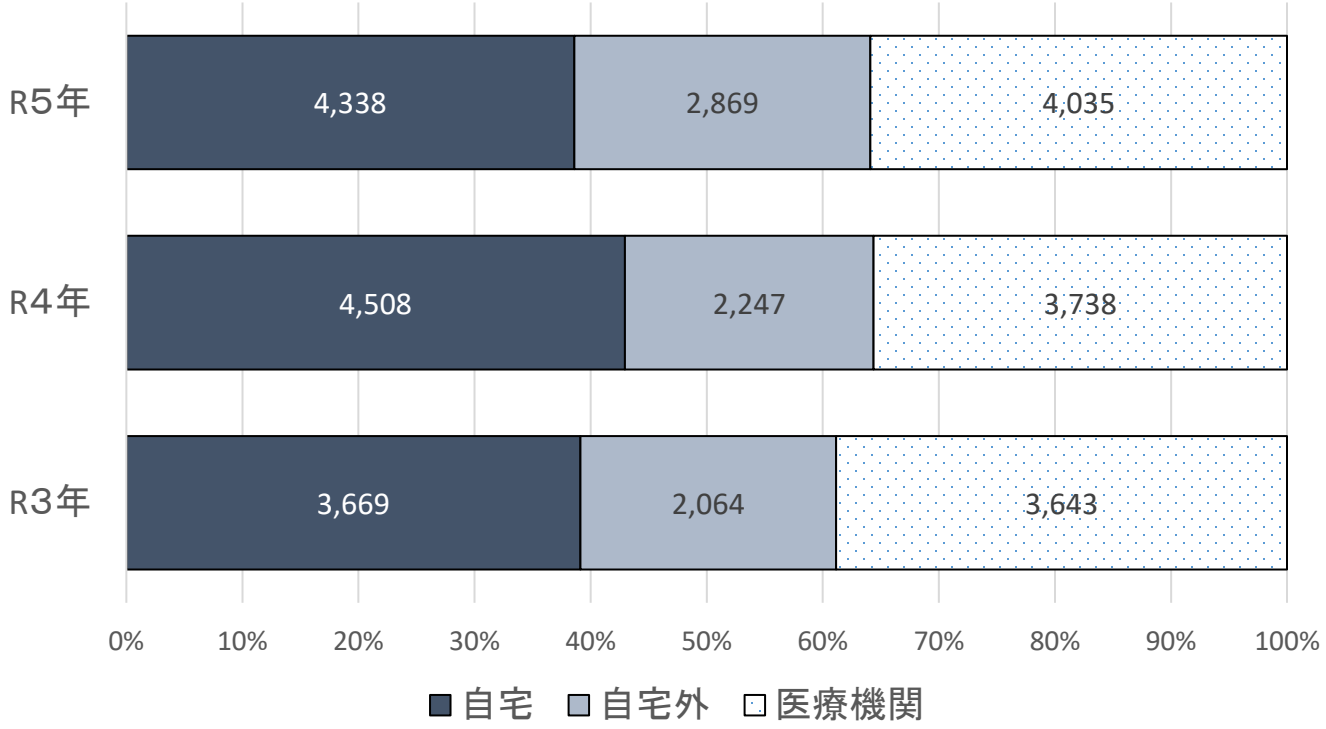


※２ R2年以降は介護医療院を含む

アウトカム指標

②近畿厚生局施設基準届出（定例報告）

- 在宅療養患者の自宅等※2死亡割合
  （※2自宅等：医療機関以外）



64.1%

64.4 %

61.1 %

まとめ

・在宅療養支援診療所・病院数は減少しているが、在宅療養支援歯科診療所数、在宅患者調剤加算の届出薬局数、訪問看護ステーション数は増加傾向である。

・在宅療養を実施している病院・診療所数は横ばい傾向であるが、訪問診療件数の実績としては、増加傾向である。

・ 24時間対応の訪問看護ステーション、在宅看取りを実施している病院・診療所数は増加、往診件数、看取り件数も増加している。

・在宅医療やかかりつけ医の必要性について、また、人生会議（ACP）についての普及啓発は依然として進んでおらず、さらなる普及啓発が必要である。

・在宅療養支援医療機関が訪問診療をしている患者では、医療機関以外の自宅等で死亡している患者の割合は増加傾向である。